



2023年12月25日

各位

会社名 イチカワ株式会社
代表者名 代表取締役社長 矢崎孝信
(コード番号 3513 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員総務部長 山崎 敦
(TEL. 03-3816-1111)

業績連動型株式報酬制度への追加拠出に伴う 第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、2023年12月25日開催の取締役会において、下記のとおり、第三者割当による自己株式の処分（以下、「本自己株式処分」といいます。）を行うことを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 処分の概要

(1) 処 分 期 日	2024年1月18日（木）
(2) 処分する株式の種類及び数	普通株式 75,000 株
(3) 処 分 価 額	1株につき金 1,585 円
(4) 処 分 総 額	118,875,000 円
(5) 処 分 予 定 先	株式会社日本カストディ銀行（信託 E 口）
(6) そ の 他	本自己株式処分については、金融商品取引法による有価証券届出書の効力発生を条件とします。

2. 処分の目的及び理由取得の内容

当社は、2018年6月28日開催の第94回定時株主総会の決議に基づき、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託（BBT）」（以下、「本制度」といい、本制度に関してみずほ信託銀行株式会社と締結した信託契約に基づいて設定されている信託を「本信託」といいます。）を導入し、2021年6月29日開催の第97回定時株主総会において本制度に係る報酬枠を改めて設定しております。（本制度の概要につきましては、2018年5月15日付「業績連動型株式報酬制度の導入に関するお知らせ」をご参照ください。）

今般、当社は、本制度の継続にあたり、将来の給付に必要と見込まれる株式を本信託が取得するため、本信託に対する金銭の追加拠出（以下、「追加信託」といいます。）を行うこと、並びに、本制度の運営にあたって当社株式の保有及び処分を行うため株式会社日本カストディ銀行（本信託の受託者たるみずほ信託銀行株式会社から再信託を受けた再信託受託者）に設定されている信託 E 口に対し、第三者割当により自己株式を処分することを（本自己株式処分）を決定いたしました。

処分数量については、「役員株式給付規程」に基づき信託期間中に当社の取締役（社外取締役を除きます。）及び執行役員等に給付すると見込まれる株式数に相当するもの（2023年3月末で終了した事業年度から2025年3月末日で終了する事業年度までの3事業年度分）であり、2023年9月30日現在の発行済株式総数 4,967,151 株に対し 1.51%（2023年9月30日現在の総議決権個数 44,451 個に対する割合 1.69%（いずれも小数点第3位を四捨五入））となります。

※ 追加信託の概要

追加信託日	2024年1月18日（予定）
追加信託金額	118,875,000円
取得する株式の種類	当社普通株式
取得株式数	75,000株
株式の取得日	2024年1月18日（予定）
株式取得方法	当社の自己株式処分（本自己株式処分を引き受ける方法により取得）

3. 処分価額の算定根拠及びその具体的理由

処分価額につきましては、本自己株式処分の取締役会決議日の直前営業日の東京証券取引所における当社普通株式の終値1,585円といたしました。

取締役会決議日の直前営業日の終値としたのは、株式市場における当社の適正な企業価値を表すものであり、合理的であると判断したためです。

なお処分価額1,585円については、取締役会決議日の直前営業日から遡る直近1ヶ月の終値平均1,609円（円未満切捨）に対して98.51%（ディスカウント率1.49%）を乗じた額であり、同直近3ヶ月の終値平均1,580円（円未満切捨）に対して100.32%（プレミアム率0.32%）を乗じた額であり、さらに同直近6ヶ月の終値平均1,516円（円未満切捨）に対して104.55%（プレミアム率4.55%）を乗じた額となっております。上記を勘案した結果、本自己株式処分に係る処分価額は、特に有利なものとはいえ、合理的なものとして判断しております。

なお、上記処分価額につきましては、取締役会に出席した監査役3名（うち2名は社外監査役）が、特に有利な処分価額には該当しない旨の意見を表明しております。

4. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本自己株式処分は、①希釈化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、株式会社東京証券取引所の定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意思確認手続きは要しません。

以上